



山田さんの手ほどきを受けながら紙すきに取り組む児童＝静岡市葵区の清沢小

静岡市葵区の清沢小で6日、全校児童18人が地域に古くから伝わる手すきでの和紙作りに取り組んだ。同校は来年4月、同区の中糞科小、水見色小と統合する予定で、閉校の記念グッズなどの材料として活用するため和紙を作った。

最後の紙すき

来春統合の清沢小児童18人

和紙作りは同校で30年以上続くという伝統行事で、寒さが厳しくなる12月に行ってきた。講師を務めたのは同校卒業生の山田芳朗さん(61)、志保さん(58)夫妻。児童たちは和紙の原料であるミツマタとトロロアオイを混ぜた水を入れた水槽に、紙をすく道具「簀笥(すけた)」を慎重に浸し、大小2種類の和紙を次々にすいていった。

前日には準備として、山で採取したミツマタを鍋で煮込んだ後、学校前の愚俣川の水流に浸しながら棒でたたいて繊維をほぐす作業に取り組んだ。4年の森松介君(9)は「清沢小では最後の紙すき。さみしい気持ちも少しあるが、楽しく作業ができてよかった」と話した。(写真部・坂本豊)

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①紙すきをしている写真の児童が使っている道具を何と呼びますか。()
- ②この紙すきで使っている和紙の原料は何ですか。記事の中から2つ見つけて書きましょう。() ()
- ③この紙すきが“最後”になる理由を書きましょう。()
- ④記事の に、紙すきをしている児童の気持ちをふまえた見出しを考え、12字以内で書きましょう(句読点は付けません)。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏

(小学校中学年～中学校／社会、図画工作、総合)



山田さんの手ほどきを受けながら紙すきに取り組む児童＝静岡市葵区の清沢小

静岡市葵区の清沢小で6日、全校児童18人が地域に古くから伝わる手すきでの和紙作りに取り組んだ。同校は来年4月、同区の中藁科小、水見色小と統合する予定で、閉校の記念グッズなどの材料として活用するため和紙を作った。

“最後”の紙すき

来春統合の清沢小児童18人

和紙作りは同校で30年以上続くという伝統行事で、寒さが厳しくなる12月に行ってきた。講師を務めたのは同校卒業生の山田芳朗さん(61)、志保さん(58)夫妻。児童たちは和紙の原料であるミツマタとトロロアオイを混ぜた水を入れた水槽に紙をすく道具「簀桁(すけた)」を慎重に浸し、大小2種類の和紙を次々にすいていった。

前日には準備として、山で採取したミツマタを鍋で煮込んだ後、学校前の黒俣川の水流に浸しながら棒でたたいて繊維をほぐす作業に取り組んだ。4年の森松介君(9)は「清沢小では最後の紙すき。さみしい気持ちも少しあるが、楽しく作業ができてよかった」と話した。(写真部・坂本豊)

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①紙すきをしている写真の児童が使っている道具を何と呼びますか。(簀桁(すけた))
- ②この紙すきで使っている和紙の原料は何ですか。記事の中から見つけて2つ書きましょう。(ミツマタ)(トロロアオイ)
- ③この紙すきが“最後”になる理由を書きましょう。
(例)来年4月に他の小学校と統合し、閉校になるから。
- ④記事の□に、紙すきをしている児童の気持ちをふまえた見出しを考え、12字以内で書きましょう(句読点は付けません)。
(例)・さみしく楽しく(7字) ・楽しい作業にさみしさも(11字)
・楽しくできて良かった(10字) など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏

(小学校中学年～中学校／社会、図画工作、総合)